



2024年3月期 決算説明資料

ダイニチ工業株式会社
東京証券取引所スタンダード市場（証券コード5951）

代表取締役社長 吉井 唯
取締役管理本部長 野口 武嗣

2024年5月13日

2024年3月期（2023年4月1日-2024年3月31日）

暖冬が季節家電商品の販売に影響し、売上高、各利益ともに前年比減

- ✓ 売上高構成比の高い暖房機器の販売が減少し、営業利益、経常利益ともに前年を下回る。
- ✓ 最適な生産体制の構築や価格改定等への取り組みを進めたものの、暖房機器の落ち込みをカバーできず、売上減。

売上高

196.5 億円

対前期増減率 -7.4%

営業利益

11.0 億円

対前期増減率 -24.0%

経常利益

12.9 億円

対前期増減率 -21.9%

当期純利益

8.8 億円

対前期増減率 -26.6%

暖房機器

- ・ 石油暖房機器
- ・ 電気暖房機器
- ・ ガス暖房機器
（受託生産）



石油暖房機器



電気暖房機器

暖房機器
73.4%

環境機器
20.0%

その他
6.6%

売上高
196億50百万円
(2024年3月期)

環境機器

- ・ 加湿器
- ・ 空気清浄機
- ・ 燃料電池
ユニット
（受託生産）



加湿器

その他

- ・ コーヒーメーカー
- ・ 部品 など



コーヒー豆焙煎機

- ✓ 暖房機器は需要期全般で気温が高めに推移し、販売が前年実績を下回る。
- ✓ 環境機器はテレビCMによる販促を強化し、売上高は前年実績を上回る。
- ✓ その他はコーヒー豆焙煎機の新モデル発売や加湿器フィルターの販売が増加し、売上高は前年実績を上回る。

（百万円未満切捨て）

	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	21,212	19,650	△ 1,561	△7.4%
暖房機器	16,302	14,420	△ 1,881	△11.5%
環境機器	3,642	3,928	286	7.9%
その他	1,268	1,301	33	2.7%
営業利益	1,447	1,100	△ 347	△24.0%
売上高営業利益率	6.8%	5.6%	-----	-----
経常利益	1,657	1,294	△ 363	△21.9%
売上高経常利益率	7.8%	6.6%	-----	-----
当期純利益	1,210	888	△ 321	△26.6%

- ✓ 2Q：石油暖房機器の一部量販店への早期導入などにより、前年実績を上回る。
- ✓ 3Q：暖房機器の最盛期となる12月の寒さが弱く、業界市場が縮小し、売上高が減少。
- ✓ 4Q：2024年2月以降に寒さの戻りはあったものの、季節需要のピークを過ぎており、売上高、各利益ともに減少。

(百万円未満切捨て)										
	2023年3月期				2024年 3月期	2024年3月期				通期 対前期増減率
	1Q	2Q	3Q	通期	予想※	1Q	2Q	3Q	通期	
売上高	1,161	7,355	19,603	21,212	22,000	1,301	7,685	18,345	19,650	△7.4%
営業利益	△ 552	356	2,358	1,447	1,500	△ 514	487	1,958	1,100	△24.0%
経常利益	△ 484	455	2,521	1,657	1,700	△ 447	585	2,119	1,294	△21.9%
当期純利益	△ 342	323	1,824	1,210	1,250	△ 316	397	1,499	888	△26.6%

※2023年5月12日開示（2023年3月期決算発表時）の数値

石油暖房機器を中心とした欧州、アジア地域への輸出

- ✓ 欧州：天然ガスエネルギー高を機に石油暖房機器の販売が加速したことにより、暖房力や利便性への理解が浸透。
- ✓ アジア：暖冬の影響で前年実績を下回る。

(百万円未満切捨て)

	2023年3月期 実績		2024年3月期 実績		
	金額	構成比率	金額	構成比率	対前期増減率
日本	18,429	86.9%	17,348	88.3%	△5.9%
欧州	1,462	6.9%	1,842	9.4%	26.0%
アジア	1,320	6.2%	459	2.3%	△65.2%
合計	21,212	100.0%	19,650	100.0%	△7.4%

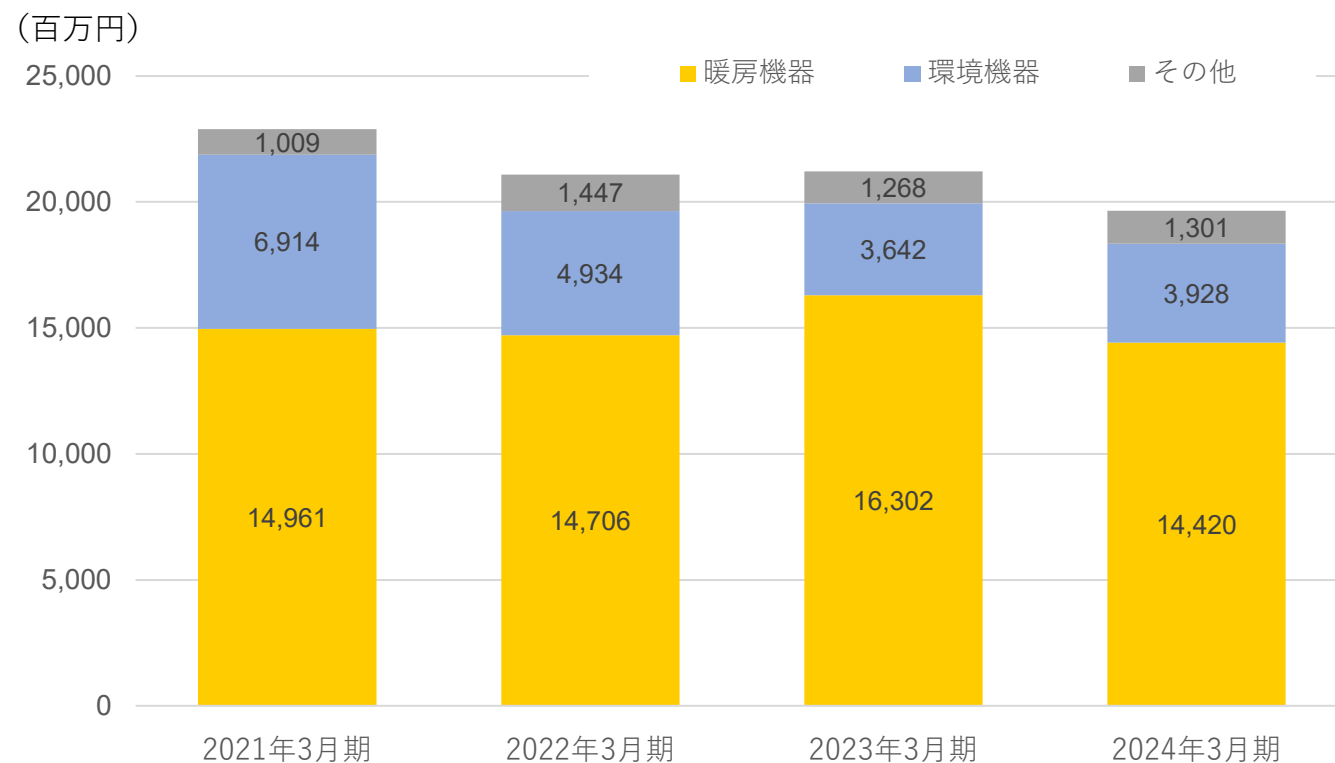
※売上高（金額）は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。

フリーキャッシュフローは7億82百万円の支出

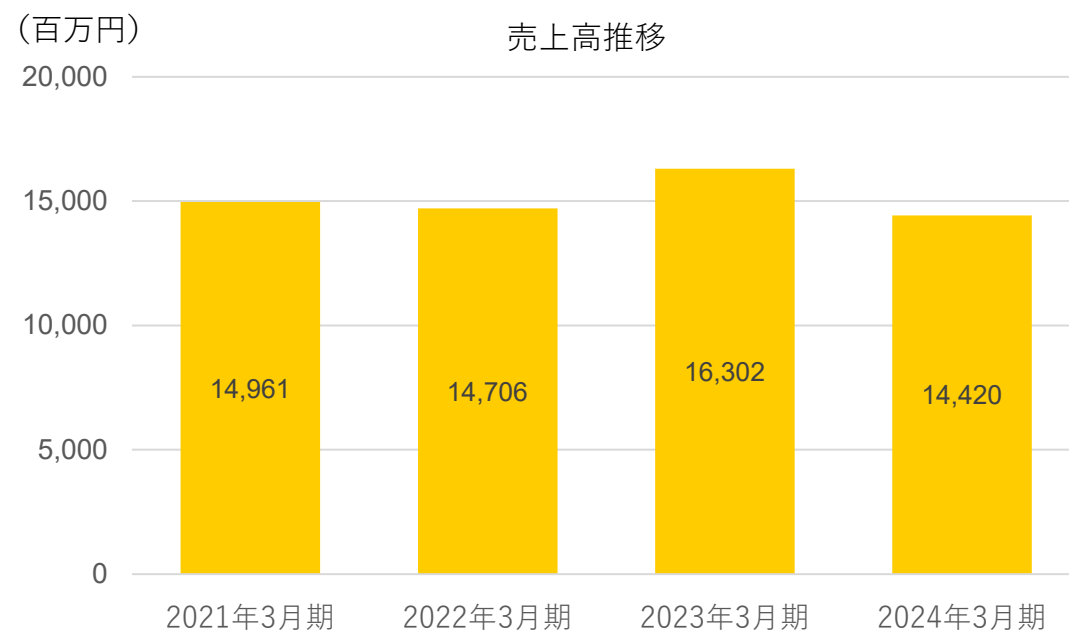
(百万円未満切捨て)

	2023年3月期	2024年3月期	
	実績	実績	対前期増減額
営業CF	2,024	111	△ 1,913
投資CF	△ 1,361	△ 893	467
財務CF	△ 355	△ 355	0
期首現預金残高	11,402	11,710	308
期末現預金残高	11,710	10,574	△ 1,136
FCF（営業CF+投資CF）	663	△ 782	△ 1,445

- ✓ 暖房機器の2023年3月期は寒波の影響を受けて売上高は増加したが、ここ数年横ばいで推移。
- ✓ 環境機器に含まれる加湿器はコロナ禍で2021年3月期に需要が拡大したが、現在はそれ以前の水準に落ち着く。

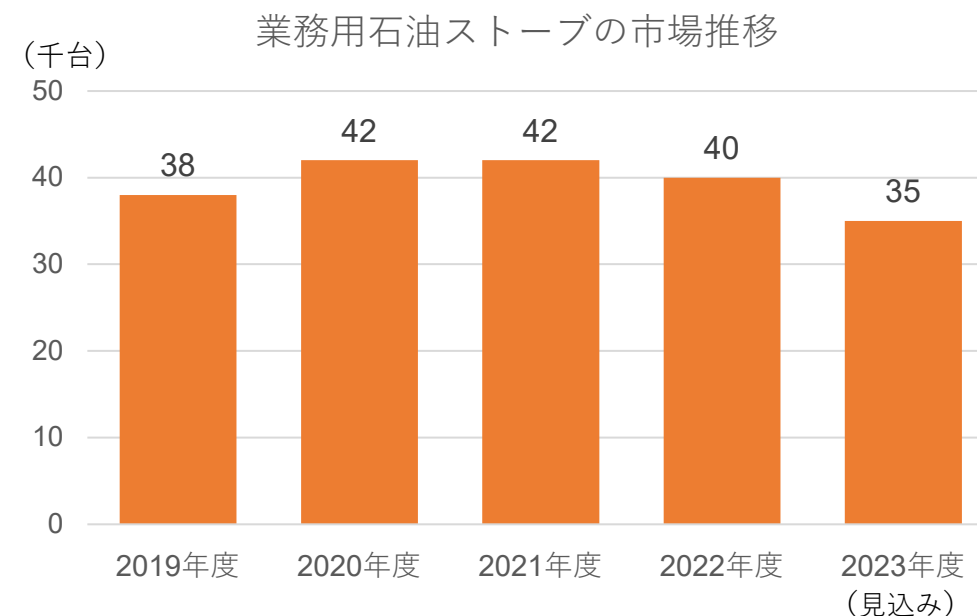
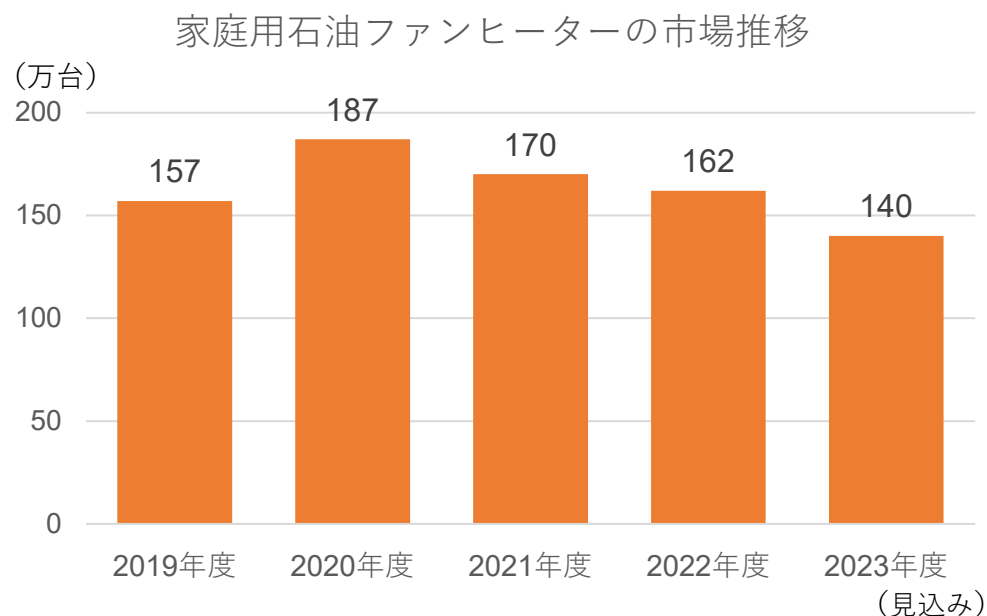


- ✓ 業界トップクラスのシェアをもつ石油暖房機器は、即暖機能をさらに高めたモデルの投入と豊富なラインナップで拡販。
- ✓ 同機器における海外への輸出は欧州が好調に推移したものの、アジアは暖冬の影響を受け、前年実績を下回る。
- ✓ 電気暖房機器はデザインを一新した加湿機能付きモデルを発売し、需要の取り込みを強化。



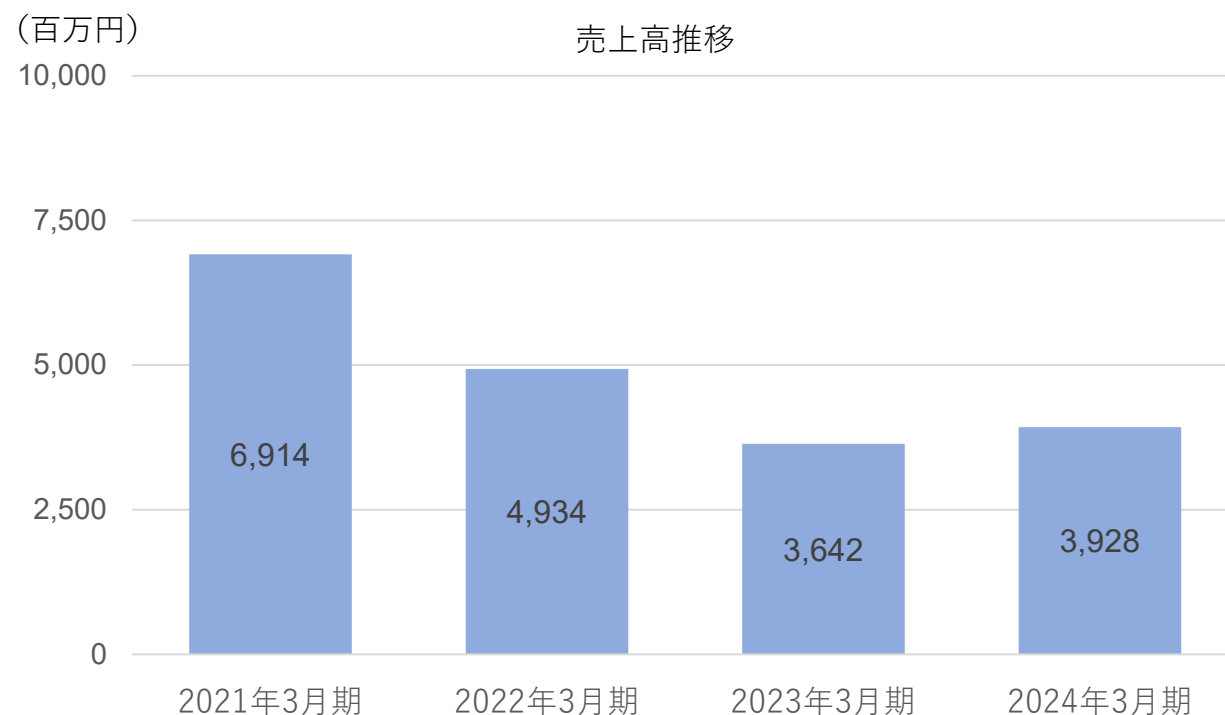
国内市場規模（一般社団法人日本ガス石油機器工業会）

- ✓ 2020年度以降、市場は縮小傾向にあるものの、冬のメイン暖房機器として根強い需要あり。
- ✓ 買い替え、買い増し層が多く、リピーター率の高い暖房機器。



【出典】一般社団法人日本ガス石油機器工業会／出荷台数〔2019年度～2022年度実績／2023年度実績見込み（2024年2月発表）〕／年度：4月～3月）

- ✓ インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症の同時流行への対策商品として注目。
- ✓ 業界トップクラスのシェアをもつ加湿器は信頼の実績と豊富なラインナップで堅調な販売。
- ✓ 2022年10月に空気清浄機を発売し、2024年3月期はテレビCM出稿などの積極的販促活動で売上および認知拡大。



[加湿器]オリジナルカラーのダイニチWebShop限定モデル発売（2023年9月）

- ✓ 高まるEC需要への対応でWEBオリジナルモデルERXTタイプをラインナップ。
- ✓ 居住インテリアへのトータルコーディネート意識の高まりから、実店舗販売ルートにはない、建築資材カラーを取り入れた5色を展開。
- ✓ 開発ベースは機能、性能でも評価の高いデザインモデルのロングセラー商品、RXTタイプ。

ハイブリッド式加湿器 ERXTタイプ



ウォルナットグレー



オークベージュ



グレイッシュブルー



チャコールブラック



アッシュグレー



第三者機関による製品評価

「家電オブ・ザ・イヤー」で 加湿器および空気清浄機が『2023ベストバイ』受賞

家電情報誌『家電批評2023年12月号』
(株式会社晋遊舎、2023年11月2日発売) 発表

- ✓ 「ベストバイ」とは、家電のプロが“消費者目線”の厳しいテストを実施し、編集部が「本当におすすめできる」と認めた製品に付与される賞。
- ✓ 競争激しい加湿器、空気清浄機アイテムの中から選ばれた価値ある受賞。

受賞アイテム：加湿器HD-RXT723（2023年8月発売）



受賞アイテム：空気清浄機CL-HB922（2022年10月発売）



協業製品開発

世界最小・最軽量※1の家庭用燃料電池「エネファームミニ※2（2023年1月発売モデル）」が「コージェネ大賞2023」技術開発部門で優秀賞を受賞

- ・ 製品開発における当社担当は燃料電池発電ユニット（貯湯タンク内蔵）であり、当発電ユニットは京セラ株式会社、パーパス株式会社、当社の3社で共同開発※3を行い、東京ガス株式会社に採用されたもの。
 - ・ 受賞も3社連名で、表彰式は2024年2月に開催された。
 - ・ 発電ユニットの生産も京セラ株式会社より当社にて受託している。
- ✓ 「コージェネ大賞」は一般財団法人コージェネレーション・エネルギー高度利用センターにより、新規性・先導性・新規技術および省エネルギー性などにおいて優れたコージェネを表彰する制度。
- ✓ 各評価項目を通じて総合的に優れた案件に贈られる「優秀賞」を受賞。

※1：定置型家庭用燃料電池において世界最小・最軽量（京セラ調べ）。2022年10月31日時点。

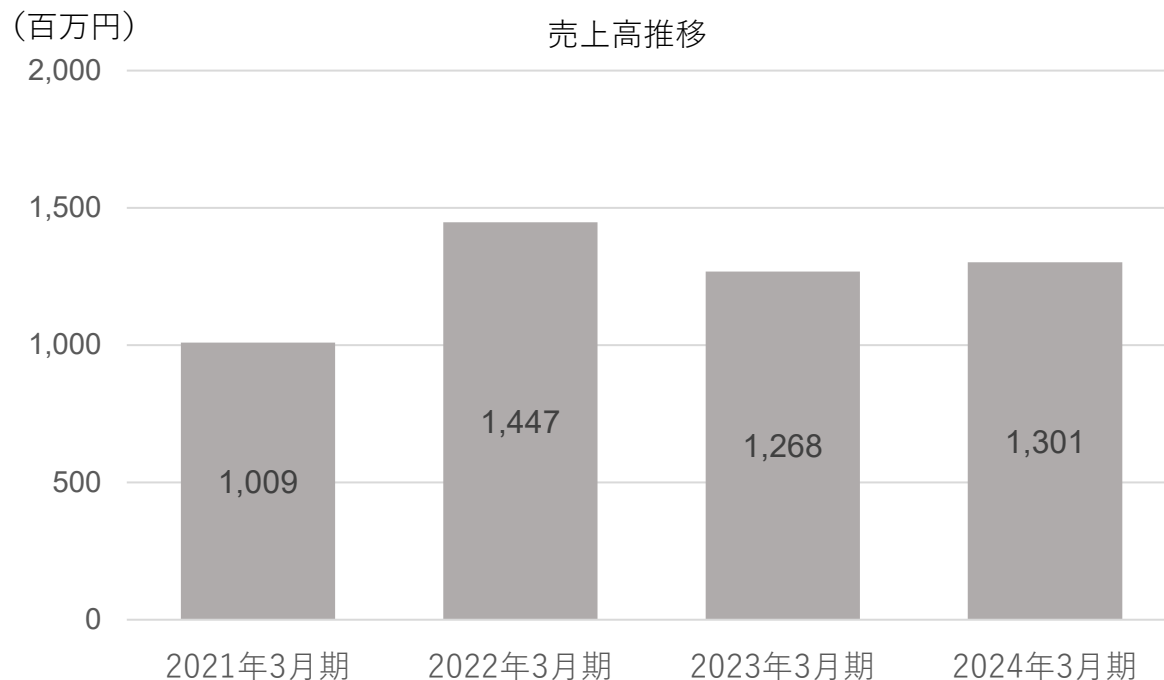
※2：「エネファーム」は、東京ガス株式会社、大阪ガス株式会社、ENEOS株式会社の登録商標です。

※3：開発にあたり、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託業務の結果から得られた成果を一部活用。



家庭用燃料電池「エネファームミニ」
写真（左）熱源機 （右）発電ユニット

- ✓ コーヒー豆焙煎機MR-F60Aを発売（2023年4月）。
手軽に焙煎できる小型焙煎機として評価が高く、WEB限定モデルながらも順調な販売。
- ✓ 発売から20年を経過した加湿器の交換式気化フィルターの販売が着実に増加。



コーヒー豆焙煎機



部品
(加湿器フィルター)

第三者機関による製品評価

「家電オブ・ザ・イヤー」で コーヒー豆焙煎機が『2023ベストバイ』受賞

家電情報誌『家電批評2023年12月号』
(株式会社晋遊舎、2023年11月2日発売) 発表

- ✓ 発売初年において高く評価され受賞。
- ✓ 自動で均一にムラなく焙煎できる点などを評価。



受賞アイテム：コーヒー豆焙煎機MR-F60A（2023年4月発売）



[加湿器] 気化フィルターのラインナップ拡充

洗わずに交換する気化フィルターを加湿器全モデルに展開（2023年8月）

- ✓ 2022年度加湿器フラッグシップモデル（LXタイプ）に展開した交換式気化フィルターの販売が好調。
- ✓ 有効な時間の活用、手を汚さないお手入れ、面倒なメンテナンス作業からの解放など、現代の生活トレンドにマッチ。
- ✓ 2023年度から加湿器の全モデルに展開、売上も好調に推移。

面倒なつけ置き洗いは不要



トレイから取り出して、交換するだけ



- ✓ 原材料等の上昇に合わせた販売価格の改定を進める。
- ✓ 多様化するニーズに即した商品ラインナップの拡充に努める。

(百万円未満切捨て)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	対前期増減率
売上高	19,650	20,000	1.8%
営業利益	1,100	1,150	4.5%
売上高営業利益率	5.6%	5.8%	-----
経常利益	1,294	1,300	0.5%
売上高経常利益率	6.6%	6.5%	-----
当期純利益	888	900	1.4%

(円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想
1株当たり当期純利益	54.88	55.61
年間配当金	22.00	22.00
配当性向	40.1%	39.6%

1. 本資料は既に発表した決算内容・業績予想等についてまとめ、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なる場合がありますことをご承知おきください。
3. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、正確性などについて保証するものではありません。



[お問合せ先]

URL <https://www.dainichi-net.co.jp/>

〒950-1295 新潟県新潟市南区北田中780番地6

ダイニチ工業株式会社 総務部

TEL 025-362-1101